

つつじの里荒滝のこれからを地域と一緒に考える集いの会議結果報告

1. 会議名	つつじの里荒滝のこれからを地域と一緒に考える集い
2. 開催日時	平成28年10月31日(月) 午後7時00分～午後8時40分
3. 開催場所	松阪市飯高林業総合センター 1F 研修室
4. 出席者氏名 (◎委員長)	(アドバイザー) 永谷隆行(株式会社アーリー・バード 中小企業診断士) (松阪市) 松阪市長 竹上真人 副市長 小林益久 飯高地域振興局 片岡局長、柳瀬次長兼地域振興課長、森山担当監、 高岡主幹
5. 公開および非公開	公開
6. 参加者数	46人
7. 担当	松阪市飯高地域振興局 地域振興課 TFL 0598-46-7111 FAX 0598-46-1092 e-mail chishin.taka@city.matsusaka.mie.jp

事項

1. 開会
 2. つつじの里荒滝の現況報告
 3. 民営化に向けたアドバイス
 4. 意見交換会
- 会議録 別紙

つつじの里荒滝のこれからを地域と一緒に考える集い会議録

日 時：平成28年10月31日(月)午後7時00分～午後8時40分
場 所：松阪市飯高町赤桶研修所 2F 大会議室

<出席者>

コーディネーター 松阪市長 竹上真人
松阪市副市長 小林益久
飯高地域振興局長 片岡 始
アドバイザー 永谷隆行（株式会社アーリー・バード 中小企業診断士）

事 項

1. 開会
2. つつじの里荒滝の現況報告
3. 民営化に向けたアドバイス
4. 意見交換会

（司会）

それでは、定刻となりましたので始めさせていただきます。

皆さんこんばんは。今日は、お仕事等でお疲れのところ、「つつじの里荒滝のこれからを地域と一緒に考える集い」にご参加いただき、誠にありがとうございます。まず、始めさせていただく前に、本日の日程について説明させていただきます。最初に、飯高地域振興課の観光担当より、パワーポイントを用いて15分程度説明をさせていただきます。それから、中小企業診断士である株式会社アーリーバードの永谷さんから当該施設の民営化についてのアドバイスを15分程度いただきます。その後、市長との意見交換に入らせていただき、8時30分を目途に終了させていただきます。それでは、最初に、市長よりご挨拶を申し上げます。。

（市長）

あいさつ

（司会）

続きまして、つつじの里荒滝のこれまでの状況や経過、そして、これからのスケジュールの概要等について、飯高地域振興課より説明をさせていただきます。

【運営経過と推移、今後のスケジュール概要等説明】 <事務局より説明>

（司会）

続きまして、中小企業診断士である株式会社アーリーバードの永谷さんから当該

施設の民営化についてのアドバイスをいただきます。

【民営化の可能性について】〈アドバイザーより説明〉

(司会)

続きまして、市長との意見交換に入らせていただきたいと思いますので、市長、よろしく願いいたします。

意見交換

(市長)

それでは意見交換会に移らせていただきます。意見や先ほどの説明に質問はございませんか。どなたか、口火を切っていただきますとよろしいかと思えます。

(市民)

お集りの皆さま、ありがとうございます。近年施設の移譲問題が出ておりますが、地元にとりましてはあまりにもリスクが大きく、返事を致しかねているというのが本音でございます。どうか市長様深いご理解いただきましてよろしく願いいたします。また飯高駅には平成 27 年度 36 万人の来客があると聞いておりますがつつじの里につきましてはその 1%にも満たない 2,300 人でございます。何とかしてつつじの里に足を運んでいただきたいと思いますと思っております。どうか、色々と考えていただきたいと思います。

(管理者)

今まで大きな事故もなく運営させていただきましたのは皆様のご協力、ご支援のおかげだと考えております。社会情勢の変化によりこういう見直しとなってきたことを重く受け止めております。

実際ここまで運営させていただき感じたことですが、自然環境はほかの施設に比べると本当にいいと思っております。赤桶区の宝でもあると感じております。昔から関西一のつつじの名所となっています。今はつつじに病気がついてしまっておりますが、春はつつじ、初夏には蛍が飛んで夏の夜は満点の星空を見ることができず。秋は紅葉がすごく素敵です。この環境を後世に残すことが赤桶地区の役目だと思っております。

赤桶区の若い世代の方々も関心を持っていただいておりますし、地元区民によってここを運営していきたいというのが私の本音です。

(市長)

先ほども説明いたしました、決して無くそうという話では全くございません。いかにして継続させていけるのかという提案をこれからいただきましょうという

話なんです。そこで、市の方から悦明しましたように、もしそうした民間提案がなければもう一度そこで考えましょうというお話になっています。

松阪市も財政的には厳しくなりますので、いろんな可能性を探っていかなければなりません。そのような中から今日の話はスタートしているという事をご理解いただきたいと思います。ですから決してこの施設をいきなり無くそうと考えている事は一切考えておりません。それはリバーサイド茶倉を見ていただいたら分かっていただけたと思います。私が市長になって直ぐに民間公募の公開プレゼンテーションで3社の提案があり、その中で一番実現性のあるアーリーバードさんにとりあえず1年間お任せをし、1年ではなかなか結果が出ませんから、引き続き3年間続けていただくことになっています。

いかにすればきちんと次の世代にこの施設を引き継ぐことができるかという方法を考えさせていただきたい。そのために皆様方にいろいろご意見くださいというのが今日の集いという事でご理解いただきたいと思います。

(市民)

以前茶倉で支配人をしていたことがあります。当時集客を上げるために各種イベントを行っていました。今でも市から補助金が出るイベントはあるのですか？

(局長)

飯高については夏祭り、ふるさと祭りなどのイベントがあります。

(アドバイザー)

茶倉については以前から水辺のカーニバルが行われていますが、今年一年で言いますと集客イベントが少なかったかと思っております。今後は自主的にイベントを実施していきたいと考えております。

(市民)

以前はシイタケの菌打ち体験教室などに補助金が出ていたと思いますが今はどうですか？

(市長)

今その手のイベント補助金はないと思いますが、例えばイベント時に広報、宣伝などの部分を市で受け持つといった提案をいただくといったやり方は十分あると思います。特に飯南・飯高という尺度で語る必要があります。

(市民)

どのようなことがあろうとつつじの里荒滝の施設は残していただきたいというのが私の思いです。

(市長)

つつじの里荒滝の施設を継続させていく方法を考えていくというのが今日の趣旨であり、次世代にきちんと繋いでいく方法を考えるのが市としての責務だと考えていますので、いろんな提案をいただきながらそれを進めていきたいと思えます。決して無くしていくというものではありません。そのところはお約束します。もし仮に公募が無かった場合にはもう一回いろんな形を考えていこうであるとか、イベントなどにどういった形でお手伝いができるであろうとか、いろんな提案をいただきながらそこを進めていくという話だと思っています。これは後ろへ下がる話ではなく、前に進むための話だと私は考えております。つつじ祭りもほぼ定着していますし、夏のキャンプについてももう少し宣伝した方がいいと思えます。我々ももっと広報に力を入れることでお手伝いできると私なりに考えております。施設を作るよりも宣伝にお金を使った方が効果があると私は考えております。

(市民)

植樹祭などを催し、ボランティアによるつつじの苗木の植栽をしてはどうか。それと子供の時の思い出はしっかり残るので、地域の良さを小さいうちから触れさすという事があってもいいのではないかと思います。

(市長)

つつじも植物なので更新を図る必要があります。この地域のつつじを未来の子供達に次いでいくために、そういった循環が今後必要になると思えます。

(市民)

つつじの里荒滝の施設をどうか残していただきます様お願いいたします。また地元住民の協力はあるのか、あればどのような形なのか聞かせていただきたいと思えます。

(市長)

茶倉のレストランではたくさんの地元の方が食べに来るようになってきました。地元の方がもっと利用すべきと考えるようになってきている様です。

(アドバイザー)

想像以上に地元の方に応援いただきました。

(市民)

つつじの里荒滝のインターネットの更新をしたり、水屋神社で満月の日に満月の祭りを行っていますのでそういうこともPRしていただくと地域としてのイベントになるのではないかと思います。あとつつじが半分程度枯れていますので、苗木の寄付を募り、植樹を地域で行えばいいのではないかと、そういったことから改善

する必要があると考えます。

（市長）

苗木を市が用意し、地域の皆さんで植え替えをしていただくなど、色々な方法を考えていかなければなりません。

（市民）

現有設備でこの先集客増を目指すのは難しいのでは？中途半端な施設だと思います。

（市民）

今夜はやっつろう会の若い人たちも来ていただいています。何とかいい形で施設を残せたらと考えています。今のままの指定管理者制度では平成 30 年 3 月末でという事になっていますけど、その後についても飯南の茶倉のように指定管理者制度を継続して行うことが可能なのかその辺をお聞かせいただきたいと思います。

（市長）

茶倉がそうであったようにそれは可能だと思います。それは提案次第となります。最終的には民間にお任せしたいと考えております。採算的にはもう少し頑張ればできるであろう、ただ施設維持管理の部分でどの程度改修費が必要になるかも探っていく必要があります。行政は 100 万の金が惜しくて言っているのではなく、この施設を継続させるためにはどうすればいいか、いかにして次世代に繋いでいけるような施設として、きちんと守っていくにはどうすればいいのかを考える必要があります。

（市民）

企業が企業研修を行うと思いますが、今企業は研修に対してどの程度力を入れているのか、企業診断士さんのご意見をお聞かせいただきたいと思います。

（アドバイザー）

バブル期に比べると減っているものの、やはり人づくりが大切だという考え方が近年高まっていますので会議室ではなく自然環境の中で新たな発想を生みましようといった研修は大都市圏でのニーズはあると思います。それにいかに営業をして届けていくという課題はありますが、十分魅力的な市場だと思います。

（管理者）

つつじの里荒滝は最初負担金を出していますが、ほかの施設はどうなっているのか教えていただきたいのですが。

(次長)

施設については市が国の補助金を受けて建てていると思われます。

(管理者)

それはほかの施設も一緒ですか？

(次長)

運営していくために必要なものについては、運営母体が出資金なり負担をしています。

(管理者)

金額的にはみなさん同じような額ですか？

(次長)

それについては様々です。

(市民)

施設移譲という言葉ですが、何をどのようにまた、支援はどの程度なのでしょうか。

(市長)

移譲というのは施設を引き受けていただくという事、まあ言えば登記が変わり、持ち主になっていただくという事になります。支援の方向はこれから提案をいただき、色々なやり取りをしながら決めていくという事になります。

(市長)

時間になってまいりました、これから公募にかけさせていただくことになりますが、決して無くす話ではありません、後ろへ下がる話ではなく前に一步進む話という事でご理解ください。皆様のご提案によりこの施設をより良い施設にしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(市民)

公募が無かった場合どうするんですか？

(市長)

もう一度この施設をどうするかという事を再検討いたします。今の形であるのか違う形になるのかさらに検討をする、再度公募を行うかもしれませんし、そこはさらにもう一度検討することとなります。

(市民)

この場をお借りしてちょっと言わせていただきたいと思います。水屋神社の大楠をこの中でご覧になられていない方が見えたら是非一度見ていただきたいと思います。日本一と言われる蒲生のものよりちょっと上です。

(市長)

最後に楽しい締めをいただきました。ありがとうございます。

今後公募をかけ、色々な提案をいただくとお思います。それによって次のステップに進んでいく訳ですが、民間の誰かが手を挙げて「はいどうぞ」とは、なかなかそうはならないんだらうなとお思います。やはり地域の協力なしに施設の運営はできませんので、我々も簡単には考えておりません。ただ、はっきりしているのは、いかにすればこの施設を次の世代に送っていけるかというのをさらに検討する必要があり、そこの一歩が年明けの公募だと考えております。今日がスタートラインと考えておりますので、今後ともご協力をいただきます様お願いいたします。時間となりましたので、終了させていただきます。

(司会)

本日はご多忙のところつつじの里荒滝の今後を考える集いにご参加いただき、誠にありがとうございました。多くの貴重なご意見を賜りましたので参考にさせていただきます。お帰りの際にはお配りしましたアンケート用紙に、今日言えなかったこととか感想などご記入いただきまして、回収ボックスに入れていただくか、お近くの職員に渡していただきますようお願いいたします。本日は長時間にわたりましてありがとうございました、お気をつけてお帰りください。

荒滝のこれからを地域と一緒に考える集いに関するアンケート集計

参加者（一般）40人 アンケート回収数 33人（回収率 82.5%）

Q1：性別・ご年齢などについて教えてください。

お住まい	赤桶地域	32人
	飯高地域	0人
	松阪市内	1人
年 齢	10歳代	0人
	20歳代	1人
	30歳代	2人
	40歳代	5人
	50歳代	4人
	60歳代	8人
	70歳代以上	13人
性 別	男性	20人
	女性	7人
	記入無	6人
ご職業等	会社員	12人
	自営業	7人
	公務員	0人
	その他（無職等）	12人
	記入無	2人

Q2：「地域と一緒に考える集い」のことを、どのようにお知りになりましたか。（複数回答）

広報まつさか	9人
ホームページ	0人
チラシ	6人
知人の紹介	15人
その他（自治会等通知）	5人

Q3：意見交換会の内容についていかがでしたか。

よかった 12人

- ・収支状況がよくわかった。
- ・今の現状とこれからのつつじの里のあり方について市としての考えが聞けてよかった。
- ・再検討をお願いしたい。
- ・市の意向がわかった。
- ・つつじの里の営業の状態が知れて良かった。
- ・考え方がわかった。
- ・地元がしっかり取り組み考え努力するのは当然ですが、こういう機会を作っていただけ一層関心が高まったと思い市の方から一層の協力をさせていただくようお願いする。

普通 10人

- ・改善提案でほとんど意見が出ていたように思う。

不満である 2人

- ・時間が短かった。意見が出尽くしていないと思われる。
- ・少しわからない事がある。

どちらでもない 2人

- ・もっと地元の者が話し合うことだと思う。外に地元の良さを発信したり集客の方法を考える。

記入無 7人

- ・将来どうして行くのか松阪市としてもっと具体的に方針あるいはどう持っていくのか説明してほしかった。
- ・つつじの里の経緯と地元の思いを知ることができた。

Q4：今後のつつじの里荒滝のあり方について、ご意見・ご感想を自由にお書きください。

- ・平成27年度飯高駅に36万人が見えました。つつじの里には27年度2,385人でした。もっと人を集める事をしなければならないと思います。もっと、つつじの花や山桜、もみじ等を植えて、人の来ていただけるのを願います。今後とも宜しくお願い申し上げます。
- ・地元の住民として現在利用しているがもっと利用する機会を増やしていくべきかなと思っています。集客力を増やしていくには松阪市としてどうPRしていくのか？

売上単価は低いので少し上げればいいのか？結論論として民営化すれば利益が上がりなかつたら廃止の方向にもならんとも限らないので松阪市としてどのような型になってもバックアップして設備を存続してほしい。

- 皆さんの意見を聞き地域住民として協力したいと思いました。良い方向に向かうよう願っています。今後、動きがあればかかわっていきたいと思います。
- 研修できる施設に改造して通年オールシーズン出来る市場の開拓をする。
- 赤桶育ちの赤桶人間です。赤桶の皆が一生懸命考えてあの手この手でやれば考えればうまくつつじの里もいくんじゃないかと思います。まずは地域皆の力ではないかと思います。赤桶地域でボランティアを募って始めたりとか色々方法を皆で考えたらどうでしょう。
- つつじの里、荒滝不動のつつじについては老木化し弱り、枯木も目立ってきている。そこで今後、つつじ、もみじ等の苗木を植えて以前のようなつつじで燃える山になるような施策が必要であり、市当局のお力添えを頂きたい。つつじの名所が取り戻せれば多くの人に来てくれる様になる。
- 環境整備をまず早急に進めるべきだと思っています。
- 施設が老朽化しており現状施設での集客は難しいのではないかと思う。抜本的な施設の改修に市の支援は必要。現状の委託料の範囲では難しい。
- 地域住民と市の方々の応援も受けながらにして先祖代々に受けついでいける様な環境をつくっていきたい。人が集まれる様な設備等の配慮や自然を生かしたイベントの運営。
- 民間委託をする場合は全体（山つつじ）など広く考え、つつじを育てられる様をお願いしたい。
- 地域の皆さんの思いが伝わったのかなと思いました。環境をと整えてほしい。PRしてほしい。
- 民営化した方が営業活動やイベントなどが活発になっていいと思います。それともなって地域住民の利用も増えると思います。飯高駅との連携も必要だと思います。ぜひ民営化してほしいです。やはり、市長の意見にもあったが宣伝が重要。一度中日新聞の一面につつじの里がのったことがあるが、次の日のお客さんはすごかった。最後にもっと若い人が地域に住んでほしい。
- 集客を増やす⇒イベントを行う⇒広報／運営 線引
⇒スタッフ人数が難⇒ボランティア？

イベント：植樹、ホタル、星の観察会

施設：トイレの洋式化、バリアフリー化

- つつじの植栽。ホタルが多いので環境整備、PR、プール、川遊びができるように整備。→できることはボランティアで行う（地元住民など）。PC、スマホ等の電波が弱いので、インターネット速度UPDOWNROADが遅いみたいです。これを改善できればいいのではないか？中央構造線をアピール。
- 経営やPRもちろん大事ですが、まずは設備の修繕（苗も含む）が最優先だと思います。PRしてもがっかりして帰られてはリピーターにもなりません。「花」は

集客力が強く遠方からも来た方がまた来たいと思われるようにまず整備を協力して行うといいと思います。あと今はオートキャンプ場に人が集まります。それをふまえて整理したらいいかと思います。市として整備に予算がでるのか、出ないなら寄付を募るのか、具体的に決めていかないとと思います。

- ・より良い形で残していきたい。
- ・飯高駅に寄って下さる人をつつじの里に行ってもらえるようにする事。
- ・1、整備の見直し。2、つつじの里の魅力、誘客方法の見直し。3、プロジェクトチーム（地元、行政その他）の立ち上げ。
- ・本日の「考える集い」ありがとうございました。当施設の存続をせつに希望致します。
- ・本日の集会の開催ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。